

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

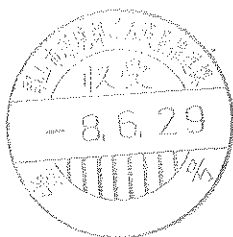
（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 8 年 6 月 29 日

郡山市長

殿



提出者

住 所 郡山市湖南町赤津字南町4172番地

氏 名 株式会社 良田建材店

代表取締役 良田金次郎

電話番号 024-953-2389

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

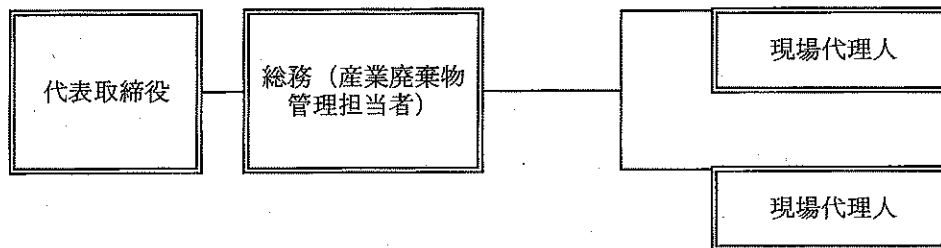
事業場の名称	株式会社 良田建材店
事業場の所在地	郡山市湖南町赤津字南町4172番地
計画期間	令和8年4月1日から令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業、採石業
② 事業の規模	¥349,246,621
③ 従業員数	15人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・がれき類（アスファルト・コンクリート塊） ・構造物取壊し等による発生→収集運搬→中間処理施設→再生リサイクル ・廃プラ類、木くず、混合類、金属、ガラスくず類 ・各工事現場から発生→収集運搬→最終処分場→焼却・埋立

（日本工業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	金属	汚泥	廃油
	排出量	3.68 ^t	1090.75 ^t	0.1 ^t	0 ^t	0 ^t	0.2 ^t
	（これまでに実施した取組） ・木くずに関しては、的確な測量をもとに伐採範囲が広がらない様念入りに計画及び施工を行いました。						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	金属	汚泥	廃油
	排出量	3 ^t	800 ^t	0 ^t	0 ^t	0 ^t	0.1 ^t
	（今後実施する予定の取組） ・木くずに関しては、資材置場及び残土処分場等の造成に伴うものであり、発生搬出量の見通しが難しくはありますが、必要最低限及び環境に配慮した計画及び施工を行うよう努めます。分別・再利用・処分量の削減に努める。						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別作業を徹底し、産業廃棄物の適正処分。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 更に分別作業を徹底し、産業廃棄物の適正処分。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自ら中間処理は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		

(第 4 面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 7年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	金属	汚泥	廃油
	全処理委託量	3.68 ^ト	1090.75 ^ト	0.1 ^ト	0 ^ト	0 ^ト	0.2 ^ト
	優良認定処理業者への 処理委託量						
	再生利用業者への 処理委託量	3.68 ^ト	0 ^ト	0 ^ト	0 ^ト	0 ^ト	0 ^ト
	認定熱回収業者への 処理委託量						
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量						
(これまでに実施した取組)							

(第5面)

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	金属	汚泥	廃油
	全処理委託量	3㌧	800㌧	0㌧	0㌧	0㌧	0.1㌧
	優良認定処理業者への 処理委託量						
	再生利用業者への 処理委託量	3㌧	0㌧	0㌧	0㌧	0㌧	0㌧
	認定熱回収業者への 処理委託量						
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量						
	(今後実施する予定の取組) 更なる分別作業を行い再資源化施設への搬入を強化する。						
※事務処理欄							